

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：社会福祉諸費

事業名 福祉人材総合ポータルサイト運営事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 地域福祉課 福祉人材係 電話番号：058-272-8261

E-mail： c11219@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,206千円（前年度予算額：1,206千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,206	603	0	0	0	0	0	0	603
要求額	1,206	603	0	0	0	0	0	0	603
決定額	1,206	603	0	0	0	0	0	0	603

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

福祉分野の仕事に対しては依然としてマイナスイメージが強く、人材参入の阻害要因となっている。WEBを活用した情報収集が主流となる中、仕事の魅力や働き方改革等の情報を発信していくことで、福祉分野の仕事への理解促進による人材の確保と、職場の環境改善による人材の確保と定着を図る。

(2) 事業内容

- ・障がい、児童の福祉分野の仕事の魅力を伝えられるコンテンツを作成する。
- ・コンテンツは学生から転職希望者まで幅広い層に向けて福祉の魅力ややりがいを伝え、福祉の仕事を選んでもらえるように、福祉分野で学ぶ人や働く人へのインタビューや資格情報等の情報配信を行う。
- ・作成したコンテンツは「岐阜県福祉人材総合支援センター」が設置しているポータルサイトで閲覧できるようにする。また、必要に応じてポータルサイト内の情報の更新、修正及び保守管理も行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・国庫補助金（生活困窮者就労準備支援事業費等補助金）を活用。国 1 / 2。

(4) 類似事業の有無

- ・介護人材総合情報サイト運営事業費【高齢福祉課 12,068 千円 (R2)】

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,206	障がい分野・児童分野コンテンツ制作 457 千円 サイト公開・保守 540 千円 一般管理費 100 千円 消費税及び地方消費税 109 千円
合計	1,206	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第四期岐阜県地域福祉支援計画

(2) 後年度の財政負担

毎年、コンテンツ更新の作業料、保守・運営経費等の負担が生ずる。

(3) 事業主体及びその妥当性

県の独自事業であり、県が事業主体であることは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
福祉の仕事内容や研修内容等を一元的に発信することで、福祉人材の確保・育成・定着を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
ポータルサイトアクセス数	0件 (H30)	1,764件 (R1.10月末)	—	6,217件 (R2.9月末)	18,000件 (R4)	34.5%

○指標を設定することができない場合の理由

—

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 - 福祉の仕事の内容ややりがい、資格取得を目指す学生の思いを掲載。
 - 県内で福祉関係職員などの育成に取り組む機関・団体が行う研修情報を発信。
 - 人材センター実施のイベント情報について発信。
 - 人材センターのPR動画を掲載。

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 - 福祉の仕事に関する業務や研修等に関する情報の発信力を高め、福祉の仕事の魅力を幅広く伝えることができた。
 - 今後は、福祉の仕事我希望する人の増加が期待される。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	福祉の仕事の魅力を伝え、理解促進を図ることで、新たな福祉人材の確保につなげるとともに、研修情報や改善事例の情報を発信することで福祉人材の育成や職場の環境改善を促進する。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) △	コンテンツが不足しているため、今後更新回数を増やすなどして、福祉の魅力PRを行い、さらなるイメージアップを図る必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	アクセスカウンター設置により、ポータルサイトのアクセス件数を把握することで、コンテンツへの反映に繋げており、ポータルサイトの利用者に対し、効果的に情報発信するなど、事業の効率化は図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>ポータルサイトの閲覧者に福祉の魅力が伝わる内容にすること、サイトの認知度を高めより多くの方に閲覧してもらうことが必要であり、定期的な情報更新が必要である。</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>福祉人材は今後も確保していく必要があることから、継続してポータルサイトを運営・保守を行い、イメージアップを図る。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	